
ゼロ+ガンダールヴ=レイ【未来設定集】

有坂つくも

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ゼロ＋ガンダールヴⅡレイ【未来設定集】

【Nコード】

N3891R

【作者名】

有坂つくも

【あらすじ】

これは筆者の作品、ゼロ＋ガンダールヴⅡレイの平行世界前の未来の設定です。

ゼロ＋ガンダールヴⅡレイの未来設定ですが、現在書いている作品の未来ではなく、夫のサイトと子供のレイが来た世界なだけであり、ゼロ＋ガンダールヴⅡレイの作品の未来ではないのであしからずご了承ください。

設定を読まずとも楽しめるはずですので筆者といたしましては
こちらを読む前に本作を読まれてからの方がよいと思います。こちら
は気になったら読む程度にしておいてください。

未来編

【ルイズ・フランソワーズ・ル・ブラン・ド・ヒラガ・ド・オルニエール】

元祖ツンデレ娘、虚無として唯一四つの秘宝から虚無魔法を会得した。ブリミルと魔力以外は同等の技術を持つ、旧姓ラ・ヴァリエール

ロマリアにて次期教皇にと言われていたが、その時にはレイがお腹にいた為に断固拒否した。

名実共にブリミル教に置いて『聖女』と扱われている。

ルイズの中の優先順位はレイ>サイト>アン>トリステイン>ヴァリエール>シエスタ>友人>ロマリアの優先順位が確立されている。但し、レイとサイトから下は越えられない壁があったりする。

定期的に虚無魔法の世界扉【ワールドドア】を開いて貿易を行っている。

カリィヌからは早く次の子供をと会ったびに言われる。

ちなみに第二子はラ・ヴァリエール家の養子入りが確定しているためである。

余談ではあるがエレオノールは結局……いや、もはや言うまい。

【サイト・シュヴァリエ・ド・ヒラガ・ド・オルニエール】

オルニエール領主にしてゼロの使い魔　オルニエール領主の紋章とは別にサイト個人のオルニエール男爵の紋章はイーヴアルディの勇者を模して片刃の大剣と槍、そしてドラゴンが描かれている。

エルフの里【ネフテス】と交友関係を持ち、交易を行っている。

ガンダールヴのルーンを持ち、最近では【デルフリンガー】にペ
ンに宿れないか？と愚痴を言うのが日課になっている。

貴族の礼法一式をカリィ又義母さんに一ヶ月で叩き込まれた。
その光景に怒り心頭だったヴァリエール公爵が晩酌に誘うほど、
凄惨を極めた。

子煩悩で愛妻家として有名、スケベ心はある人の言葉で完全にな
くなった。

鍛錬は毎日欠かさず行い、本人いわく熊のような強靱な筋肉じゃ
なく、目指すものは山猫のようなしなやかな筋肉を作るらしい。

剣は日本刀と西洋剣をルーンなしで使いこなしている。体術は古
武術の流れを持つ、柔術を覚えて、守る戦いをいつでも出来るよう
にしている。

定期的に日本に里帰りしていて、実父は貿易会社を立ち上げた。
主にレアアースをハルケギニアから輸入して販売するという事業を
展開している。定年後は才人の弟に会社を譲り、ハルケギニアで悠
々自適の生活をすると言言している。

マザリーニからは次期宰相にと狙われているが本人はまだ気付いていない。

【レイ・フランシス・ド・ヒラガ・ド・オルニエール】

ルイズとサイトの一人息子。

本人は甘えん坊で祖母カリヌと祖父ヴァリエール公爵に果てはアンリエッタとマリアンヌから溺愛されている。

しかし、その立場がかなり微妙な立場にある。

アンリエッタが結局は結婚しなかったため、次期、王位継承権第二位になっている。

最悪、アンリエッタがこのまま結婚をせずに子供も生まなければ王位継承権が二位で確立してしまう。

それに伴い、ラ・ヴァリエール家が王家となるため、ヴァリエール家にも養子入りが確定してしまいかねない。

本人の魔法の才能は今だ不明。

ルイズはそれだけが気掛かりとなっている。

【平賀 才蔵】

平賀家の主、年齢は五二才 平賀H・T貿易会社の社長。
会社勤めをしていたが、才人失踪の後で才人の行方を捜すために会社を辞める。

才人が帰ってきた後でハルケギニアの存在を向こう側に連れて行かれる事で納得、自分の所為で会社を辞めた事を知り、責任を感じた才人がハルケギニアに移住を勧めたが弟がまだ進学中だった為に断わり、代わりに貿易会社を設立する。

日本のレアアース市場を狙って、ハルケギニアでは余り使用されていないレアアースを輸入販売を行い、それが大成功！中国のレアアース規制が拍車をかけ、会社が一気に急成長を遂げる。

今や、一部上場の株式会社にまで上り詰めさせた。

ハルケギニアとの貿易の要として日本で香辛料や砂糖と言ったものをハルケギニアに輸出すると共にレアアースを輸入する。

定年後は妻の咲子と共にハルケギニアで家庭菜園をして悠々自適生活を目指している。

レイを溺愛していて、貿易の際に開かれるワールドアの度にレイに会いに行く。

【平賀 咲子】

才人の母であり、平賀家の影の大黒柱、料理研究家としては少しは名前が通っている。

普段は気丈な母親だが、才人が行方不明になった際に心労で倒れる程、子供を愛している慈愛の人。

父、才蔵がベタ惚れしている妻である。

才蔵にさつさと定年でもなんでもして、ハルケギニアに住ませろと催促するほど、向こうの世界が気に入っている。

【平賀 来人】

才人の3歳下の弟、負けん気だけは才人に負けず劣らず強く、才人が行方不明時には駅前には立ち一人でチラシを配るほど、しっかりしている。

性格は生真面目で純情、現在大学院に入っている。

天才ではないが努力家のため、学業に対しては秀才である。

しかし、頭が固く今だにハルケギニアの貴族社会や魔法に理解をしていない。

将来は平賀H・T貿易に就職が確定していて、本人も納得している。

しかし、就職の条件として、会社では新入社員と同様に扱ってもらふ事と社長息子と言うのは内密にする事が条件としている。

【シャルロット・エレヌ・オルレアン・ガリア】

ジョゼフ亡き後、イザベラを宰相に女王に即位する。

結婚はしておらず、王位はジョゼットの子供に譲る事を公言。

結婚していない女王と言うことで、アンリエッタとは気が合い交友を深めている。

母親はオルレアン公爵家のままでジョゼット夫妻と仲良く暮らす。

ただ、偶にジョゼットを替え玉にして、タバサを名乗りながらあつちこつち遊びに行ったりしているのが、イザベラの頭痛の種。

トリステインに次いで平民を重用し、少しずつだがエルフとの交友を進めている。

主にビダーシャルを【ネフテス】の大使として扱い、その広大な国土から異種族自治区を作るほど、柔軟な姿勢を見せている。

だが、未だにサイトへの恋心は忘れておらず、時折、オルニエールへと遊びに行く。

【ティファニア・オブ・ウエストウッド・アルビオン】

アルビオンの貴族派と王家両方が無くなり、サイトの勧めでトリステインが後押しした事もあり、議会政治となったアルビオンの象徴としての王家として君臨する。

ティファニア自身には何の権限もないもののその交友関係の影響から、無視できない存在に、始祖の血を存続させる為にいるようなもので、本人は孤児達を引き取り、王宮だった所は孤児院の様相を呈している。

今だ結婚はしていないものの、外見はエルフの血が混じっている所為か？いつまでも若々しく求婚が絶えない……

本人は胸を見られるのが未だに苦手で、胸を気にしない男性を待ち望んでいるのだが……未だに胸革命【バストレヴォリユーション】に打ち勝てる勇者は現れていない。

【キュルケ・アウグスタ・フレデリカ・フォン・アンハルツ・コルベール】

ルイズやタバサの旧友にして、コルベール所長の妻。

ゲルマニアからコルベールの下に嫁いできた愛の狩人。

現在3人の子供を持つ母親であり、【微熱】と言う二つ名を持っていたが、子供達には愛は誠実であれ！と打って変わった教育をしている。

もともと面倒見が良く母性に溢れていた事もあり、平民貴族関係なく接する姿は平民にとって女神のような貴族と噂されている。

コルベールとの関係は良好で近々4人目が出来るのではないかと思われる。

【ギーシュ・ド・タルブ】

サイトの悪友にして、浮気性の人。

数々の戦功が認められ、領主のいなくなり王領となっていたタルブ領を拝領した。

水精霊騎士団の団長を継続して勤める。

長年の想いがやっと実り、モンモランシーと結ばれる。

ただし、モンモランシ家には跡継ぎがいなくなった為、第二子はモンモランシ家に養子に出された。

土系統のスクエアには届かない物のトライアングル上位の実力を持ち、ゴーレムの使い手としてはハルケギニアでも五本の指に入る程だ。

領地経営の才は無く、主に領地経営はモンモランシーに一任している。

現在養子に出した子供も含めて二人の子持ちである。

ただ、女癖は直っておらず、モンモランシーはルイズに鞭を譲ってもらったらしい。

【モンモランシー・マルガリタ・ラ・フェール・ド・タルブ】

ギーシュの妻であり、ルイズに次ぐツンデレさん
サイトの取り成しで水の精霊との交渉役となったが、今では養子に出した子供に交渉役を譲り、今はタルブ領の領地経営を行っている。

嫉妬深く、浮気された際のお仕置きはルイズ以上に厳しく、独自の情報機関を設立してギーシュが浮気していないかを調べさせるほど……

教育熱心な子育てで、意外な事にママ友達としてキュルケと仲がいい。

子供には主に内政に関する教育をメインに置いて、軍人には絶対しないと公言している。

タルブのヨシエナヴェエを気に入っていて、醤油の開発した。

最近では香水の二つ名より、【調味料】のモンモランシーといわれるほど……

《地名》

【トリスティン王国】

王都としては汚いと言われていたが、エルフの技術……罪人に遣うギアスに近いマジックアイテムを遣うことにより、今まで幽閉していた罪人や逮捕された腐敗貴族達に清掃義務を与え、貧民街や裏街などが綺麗になった。

それと同時に汚物不当廃棄禁止令が施行されたため、今までのトリスタリアとは見違えるほど綺麗な街として有名である。

貴族関連は腐敗貴族がまだいるものの、ヴァリエール家、オルニール家、グラモン家、モンモランシ家とトリスティンの有力貴族に睨まれているため、なりを潜めている。

この有力4家が纏まったのもサイトの貿易でトリスティンの財政が好転したためである。

グラモン家の債務はオルニール家が肩代わりし、優秀な財務官を派遣する事で内政が改善されつつある。

モンモランシ家はエルフの技術とサイトが水の精霊を取り成したため、持ち直した。

ルイズとキュルケの取り成しでヴァリエール家はツエルプストー家と和睦を結び、交易を盛んにしている。

トリスティンはその相乗効果で財政が回復、エルフの技術とコルベールの技術にて技術大国となっている。

現在では平民育成計画を立ち上げ、平民のための義務教育学校を始めて作ったのも、意外にもトリスティンが始めてであった。

魔法学院の横に王立魔法研究所と技術局を配置し、魔法学院の周

困は学園都市として、街が出来つつある。

今まで仕事にあぶれて貧民に甘んじていた。貧民層にも仕事が出来て活気付いている。

各国との関係は良好でアルビオンは議会政治となったしまったが、ガリアとは同盟を結び、ゲルマニアとは友好関係とは、まだ言えないがゲルマニアの有力貴族ツェルプストー家がヴァリエール家と友好を深めているため、一枚岩ではない上に技術でも抜かれ脅威ではなくなってしまった。

始祖の血が入るまでは動きようがないのが事実である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3891r/>

ゼロ+ガンダールヴ=レイ【未来設定集】

2011年5月11日14時51分発行